

寺 報

龍正寺

日なた 106号

法華經の行者の

祈りの叶わぬ

ことほある

べかす

「目蓮大聖人御遺文」

祈禱抄

<平成29年 3月>

宝 龍 会
護 持 会

節分・星祭祈禱会大法要を開催しました



ふ



く



は



う



ち



う



は



ち



く



ふ



日蓮宗宝雲山龍正寺(岐阜市)

妙泉寺



帰

山式

平成29年2月15日(水)、冬晴れの空のもと妙泉寺さんの帰山式に参加させて頂きました。

祖父江上人をはじめ、7人のお上人様方による御祈祷や読経はとても迫力があり、言葉ではうまく言い表せませんが何か不思議な力を戴けたような気がしました。

式を終え、当日の青空のような清々しい気分になりました。参加させて頂き、有り難うございました。

＝ 狂 職 一 言 ＝

弥生 (三月 春) ですぬ。

(日蓮大聖人 御遺文 祈禱抄)

「法華經の行者の
祈りの叶わぬこと
あるべからず」

法華經(お題目)を唱え、信心する人の願いは、
必ず叶う。

私達の回りには、色々な事がありますぬ。

自分の思う通りに なるまいと、腹を立ててしま
う人。

自分が間違えをして、気付かず人のせい
にしてしまう人。

色々な事が、おきる原因は、自分自身から
おこしている事が多くあると思います。

その原因に気がつき 改めた人は必ず幸せ
になれます。

法華經を唱える事で感謝をし、自責悔を

し毎日を送っていきす。

当様の幸也を、お祈り申し上げます。

合掌

南無妙法蓮華經

南無妙法蓮華經

南無妙法蓮華經

家族の輪

先日、体調を崩してしまい、寝込んでしまいました。

その日は、小学3年生の息子のサッカー練習が、19時からあり、送り迎えも友人にお願ひしました。

息子は時間になると着替えて準備をし、「お願ひします!!」と車に乗って出掛けました。

年長の息子は少し淋しくて泣いてしまったようですが、兄が帰って来ると一緒にお風呂に入ってくれました。いつもは私と一緒に入るのに、頑張ってくれたようです。

高校1年生の娘は、いつも部活で帰宅は20時すぎですが、体調を崩したことを知らずに帰って来て、びっくりさせてしまったかもしれません。私が寝ている間に食器を洗ってくれたので、次の日の朝、おびく助かりました。

主人は仕事の帰りに明日の朝ごはんの材料を買って来てくれました。一番下の息子も寝かせてくれ、次の日は私より早く起きて、朝ごはんと娘のお弁当まで作ってくれて、本当に嬉しかったです。

私も中学生の頃、母が入院し、父親が作ってくれた朝ごはんや、焼きそばの味を思い出して、娘もきっと大きくなって覚えていくんじゃないかなあ...と温かい気持ちになりました。

長男は「かあか(お母さん)が病気になるよ。ホント大変になるよあー」と言いつつながら自分の事は自分でし。次男は体をさすって心配してくれました。長女もお手伝いしてくれ。主人は少しの時間ですが主夫に... 😊

家族に支えられて、病気のお陰で有難さを再認識させて頂くことができました。そして、体第一で、家族のために頑張ろう!! と思いました。

自分の事すら自分でしてはいけません。あれをやってください! やってください! と思ってたのに... と不平不満を口にしてばかりでは、何も変わらないうころか、家族の輪も古く裂れてしまします。私もそんな時期がありました。少し考え方を改めて、今、自分に与えられた事へ感謝をして精一杯頑張ってきました。すると、何か少し手伝ってもらえただけで、すごく有難く思えるようになりました。「ありがとう♡」が増え、相手もそれに応えてくれるようになりました。気が楽です。

これからも「ありがとう♡」が一杯の素敵な家族になれるよう精進していきます。と思います。

♡ 無償の愛に包まれて ♡

今年で姑が他界して九年目になります。しかし…我が家から、お姑さんの存在が消える事はありません。

三人の孫達は遊びに来ると仏間に直行、仏壇の前でおりんもなうして片言で御題目を唱えています。

遺影の父母に「大じーじ、大ばーば」と声をかけて手をあわせ

頭をこっくと下げています。遺影の父母がほほえんでいるように見えます。

そして、父母は我が息子にも笑顔でほほえんでいると思います。

それは、畑仕事のきらいな主人が、昨年の夏孫の為にトマト、ナス、胡瓜、スイカを作り、花を植えました。

時間があると、息子・娘家族のために料理を振る舞う。小遣いで孫のおやつを買う。そのような息子の姿があるからです。

お姑さんが息子・娘にいつも無償の愛を注いでくれている事を、我が孫達とふれあうたびに思い出します。

主人の姿がお姑さんの姿と重なります。改めて、主人の両親に感謝の気持ちで胸が熱くなります。

そして、御先祖様もきっと私達子孫を大いなる愛で守って下さっていると思います。

三月は"春の彼岸"があります。

御先祖様はいつも私達を見守って下さいます。

私達子孫も感謝の気持ちと忘れずに、御先祖の供養をしましょう。

春の彼岸には孫達と団子やおはぎと一緒に作りたいなと

思っています。家族で御先祖にお供えをした団子、おはぎを頂きたい

と思います。御先祖と共に日々の幸せを感謝したいと思います。

家族で御題目を唱える事に喜びを感じています。

— 南無妙法蓮華経 —

～ 前心あるのみ ～
(進)

芸人の方が言ってみえました。

前心あるのみ。

進むという言葉でなく、心という表現の言葉で
言ってみました。

前に進むには 心が必要。

「心が無いと前に進めない」と... 聞いて、
そうだなあと思いました。

お上人より、「過去にこだわらず、前を向
いていきなさい」と言われるのですが、これが
また、なかなかなか心に(附)落ちないんです。

人は迷い、悩めます。でも行動しな
ければ物事は解決しません。

心を動かしていかなくてはなりません。

聖徒タイムズの、首導月訓を読んでいると。

『いくら執着しても、我が手を離れるものがある。
先ず、この現実を小悟ることが大切である』

執着は、己が作るもの、この現実を小悟ることが大切で、そこに気がつくことで、進んでいくことができると思っています。

人生には180度かわるような出来事が起こる時があります。

仏様は、無常をとかれていきます。

時は流れ、物事は変化していく。

心もその変化に合わせて柔軟に対処していくことで、人生を進むことができるのではないのでしょうか。

< 3月の行事予定 >

3月13日(月) 10:00~

宗祖日蓮大聖人報恩会
鬼子女尊神 祈禱会
七面大明神

3月20日(月) 13:00~

春季彼岸中日法要会

< 住職の予定 >

3月13日(月) 13:00 天壇にてらんらん

< 3月の予定 >

3月6日(月) 各々の時間で"

清掃・準備

↓

↓

↓

12日(日)

13日(月) 法要後

片付け・準備

14日(火) 各々の時間で"

清掃・準備

↓

↓

↓

19日(日)